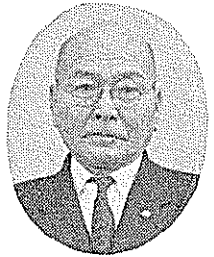


あけまして おめでとうございます

新らしく希望に満ちた輝かしい新春を迎え、このよるこびを市民のみなさまとともに分かちあいたいと存じます。

昨年政治、経済にいろいろの変遷があり、事多い年でもありましたが、その間地方改善事業など幾多の大きな事業と取り



また二十号台風のもたらした被害は、大きなものには、市としても緊急にその対策を講じその復旧に力をつくしてまいります。



希望に輝く昭和四十年年頭にあたりまして、ますみなさんのご健康と、ご幸福をお祈りいたします。

かえりみずと、昨年は世紀の祭典といわれ、ます東京でオリンピック大会が開かれた記念すべき年であり、また政治、経済の上にも変化の

た。ところでみなさんにはなみなみならぬご心労にもめげず復旧に努められ、月、日とともに立ち直りつつありますことを心から感謝いたします。

本市の発足当時は一億一千三百万円にのぼる巨額な赤字財政でありましたが、厳正な財政再建計画の遂行により現在までに七十九%の償還を終り、健全財政への道へ懸命の努力をもって突き進んで

本市は県の中心部にありながら、まだまだ後進性の強いところですが、それを打ち破るための重点事業は年々進捗よく、若さあふれる近代産業都市へ脱皮していることは誠によろこばしいことであり

農林、水産業の構造改善事業、保険衛生や社会福祉事業、治山治水道路の改良工事、観光、都市計画事業など多角的な事業の推進には市民の福祉増進を図ることを第一とし、各機関との調和を基調として新年度の市政を進めてゆきたいと考えています。

ことは私の任期の最終の年であり、みなさまの公僕として、その職責をはたしたいと考えていますので、旧に倍してご支援、ご協力をお願い申しあげ、ごあいさつとします。

若さあふれる産業都市に

市長 池川 滋寿

本年は、健全財政を基に二十号台風の復旧事業を始め、東沢の土地改良事業、岡野小運橋の架け換え工事、翠平山産業道路や、地方改善事業などの継続事業の完成、

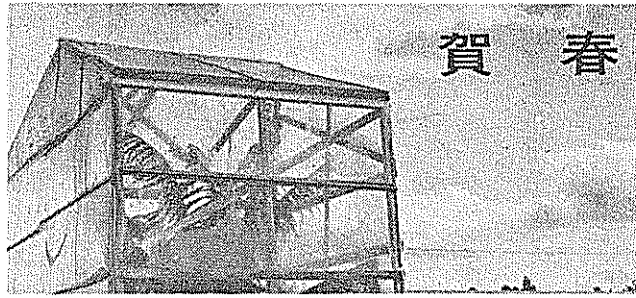
市民のみなさまのご協力、ご支援をせつにお願ひ申しあげ、年頭のあいさつといたします。

健康で明るい市政へ

議長 沢村 武一

都市計画の推進、国・県道の整備促進とともに、田園都市の特異性を考え、農道の改修、農業経営の近代化、省力化を図るとともに農業団体と積極的に協力して、

市民のみなさまのご協力、ご支援をせつにお願ひ申しあげ、年頭のあいさつといたします。



春賀

明けましてお目出度うございます。ことしは新春そうそう雪に見舞われ、例年のない寒さを覚えます。雪の降った年は、豊作に恵まれるとか申しますが、ことしは昨年のような台風は断りしたいものです。広報委員会も一昨年の夏以来、今日まで二名の欠員のまま、六名の微力をもって努力してきましたが、幸にも昨年は、県下の広報コンクールに入賞、さらに選挙に対する広報活動においては、最優良賞を受ける光栄に浴しました。なお県民クラブを通じ、日本全国に南國市の発展の姿を紹介するなど、そ

市民賞と市民の歌を

広報委員長 山本 尚一

の面目を一新した次第であります。しかし市政や、議会に関する記事を十分に報道できなかったことをいささか遺憾に思っております。が、本年からは岡田、田岡両議長が、本年からは岡田、田岡両議長が、市民の皆様に満足していただける広報ができるものと確信しております。

社会を明るくしましょう

明くるくしまししょう

市は真剣に取り組み、夢と理想のある田園産業都市への発展の構図をえがき、PRを大いにしてもらいたいものだ。

最近「ビジョン」とか「理想の人間像」とかいう言葉が使われているが、為政者には市を発展させるための姿が必要だ。市長には市長の、職員には職員の、議会には議会の信念を持たなければならぬ。

いまの市政はいかなる理想像を心に画いているのか、その信念がみられない。道路行政、産業の振興策、失業対策事業、社会福祉事業などの目標はできても、その一つ一つの力がアンバランスにならぬよう、充分心を配ってやってもらいたい。

ある町村の首長は確固たる信念をもって、理想像へしやにむき進んでおり、実績もあがっているとき、相手がいかなるものであっても、多くの住民の福祉のためには、固い意志のもとに、理想像と信念のある市政を望んで止まない。

クラブ活動

南北昭和会

むかし青年団の幹部として、青年活動を強力に推進した人たちのグループが市内にあり、活動しています。そこでその人たちの声を聞いてみました。

この会ははじめ南北昭和会といい、むかしをしのび社会

張り切る若さ

むかしの青年たち

に役立つことを考えようということから、昭和三十五年一月に発足し、いまでは農業や中小企業の発展のための研究や、討議をし、市政などに建議しようということになり、その名も高知県中央農政経済研究会と改め現在の会員は四十名、会長は竹村正一氏（東略、金融会社社長）で、顧問に田村良

平、井上東、西内四郎氏なども名をつらねている。

いろいろなあったなかで、市政に閃いたものを要約しました。

都市計画の基本構想を作られ、県下のすべての市で都市計画が実施されているのに、いち早く発展しなければならぬ南國市は

なぜ都市計画を実施しないのか、田園都市にふさわしい都市計画を作くり、明るい町、力強い町ができてもらいたい。現在市民は手当り次第どこへでも勝手に建築しているようだが、バイパスの問題、街路の路線の障害となり、後世へ悔いのかすことになる。工場地帯や住宅地帯道路の予定線などその基本構想を樹立し、安心して建築ができるようにすべきだし、人口増加策としての住宅用地の造成も必要だ。

読みやすい広報に

広報はよくなったが、いまだ少し程度を落し、庶民にも読める広報にしてもらいたい。できるならば部活のあつまったなどの活動状況や伝説、といったものを取りあげてもらいたい。